

シンクロ跳び箱の実践 ～高さから『ultra soul』で決め！～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

子どもたちは、跳び箱運動になると「何段」を跳べるかということが大きな目標になりがちです。それはそれで跳び箱が持つ魅力の一つであり、否定するつもりはありませんが、授業として取り入れる側は、高さを求めるのではなく、美しさや安定感を求めて指導します。

いろいろな子どもたちが取り組む体育では 測定ではなく評価

△測定・・・量的な見取り



何段跳べた？



何 m 跳べた？



何回回った？

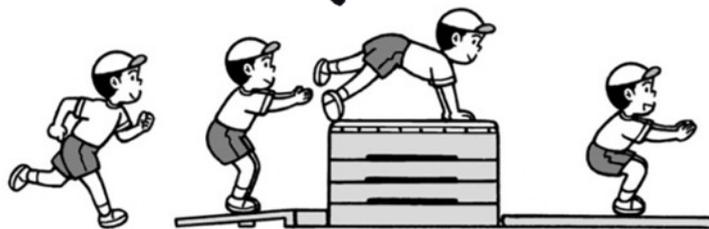
○評価・・・質的な変化(動きの変化)の見取り



優雅だね。美しいね。



飛形がきれいだね。



ダイナミックなのに、滑らかで、安定しているね。

技能面では、**技の美しさ**と**安定性の生み出し方を教え**、**その出来栄を評価**するようにしています。

そうは言っても、より高いものを目指したがる子どもたち。私たちは、揃える楽しさ、決める楽しさを求めたくなるように、工夫しなければなりません。私は授業中にBGMをよく使います。その中でも経験上、一番子どもたちがポーズを決めたいくなるBGMは、いつの時代も、B'zの『ultra soul』です。この曲になるとどの学年も、子どもたちはいつも以上に、跳び箱の着地を決めよう（止めよう）とします。

そして～ か～がや～く **ウルトラ ソウル! (Hey!)**



子どもの興味：高さ→動きの質・美しさ(決め)へ

<昨年度の一年生の様子 ①台上前転→②台上前転→③ポーズ>

そして～
か～がや～く
ウルトラ
ソウル！
(Hey!)



演技後は
遅延再生画像に

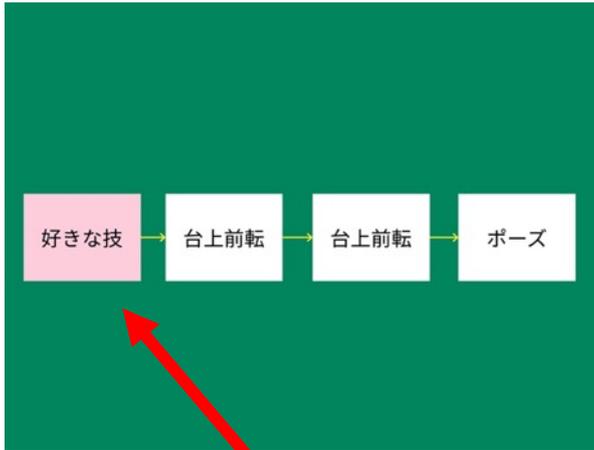


どうかな～



そして今年度。昨年度からバージョンアップしてきた子どもたちは、台上前転に入る前に。いろいろな技を追加していました。（写真は4年生）

側転, 片手側転で アレンジする子



この部分を追加

かなしくみをしりひとりでなくきました

そして、かゝがやくウルトラソウル！（Hey!）

後転でアレンジする子



前転でアレンジする子



ロンダートでアレンジする子



一人ひとりの違った『ultra soul』を見ることができました!

(この曲 当分使えそうですね)